

想いを築く。

皆様、こんにちは。私は関西ハウス工業株式会社という総合建設業（主に建築）を営んでおります。社名だけ見れば、何か大げさな感じがあるのですが、淡路島に本社と明石市に営業所のある小さな会社です。これまで地元の皆様にお世話になりながら今年で創業71年目となります。

私は大学と修業時代を除く現在まで淡路島で過ごしています。創業者は祖父で、最初は花の種を売る営業マンでした。そのうち種を売るより、カーネーションなどを育てる温室を建てたほうが儲かるはずだ、ということで温室施工会社を設立し屋名を「関西ゴムパテ工業株式会社」としました。温室施工業者が少なかったこともあり、関西一円でお仕事をさせていただいたこと、ガラス温室の目地に充填するゴムパテを製造していたことが社名の所以です。その後、高度成長期の波に乗り、温室よりも建設業の方がより大きな商売ができるのではないか、ということで現在の「関西ハウス工業株式会社」となりました。

それからバブル期を経て、阪神淡路大震災を経験。その後は失われた30年ともいわれる中、コンクリートから人へという政策の下、建設業も大変な不況に喘いでおり、弊社も例外ではありませんでした。ただ、弊社は公共工事がメインではなく、民間企業の方々に非常にお世話になっておりました。これまで山あり谷ありの会社経営だったかとは思いますが、地元の皆様方やお得意先の皆様に支えられ今までやってこられたのではないかと感じます。

そんな流れがあり、私が3代目

原田 啓 行

神戸経済同友会
まちづくり委員会 副委員長
関西ハウス工業株式会社
代表取締役



伊弉諾神宮にて本名宮司と

として代表就任したのが2019年5月でした。皆様方も経験されてきた通り、不安と恐れ、希望が入り混じった気持ちを抱きながらの就任でした。そして、かねてより心に描いていた本社事務所の建て替えの計画をはじめました。建築業者として我々はどのような商品を取り扱い、どれくらいのクオリティのものを提供できるのか。民間建築に携わる身として、それを表現するのに自らの事務所をモデルルームにするのは打ってつけだと考えていました。それらをカタチにすべく、工事着手の段取りを始めた矢先のコロナ禍でした。しばらくして、在宅ワークなどが世間に推奨されるようになっていく中、はたしてこのタイミングで本社事務所を建て替えるべきか、今後の働き方はどうなっていくのか…見通しの立たない中で決断を迫られました。結果、糾余曲折ありましたが2021年11月に無事竣工し、現在に至ります。VUCAの時代と呼ばれる昨今、自分の判断が正解かどうか気にするよりも、その判断を自分自身で正解に導く必要があること、新米経

営者としてとてもよい機会となりました。

また、業績においてもコロナ禍の影響は少なからずあり、事業再構築補助金を取得し、新たに一棟貸し別荘事業を始める運びとなりました。創業者である祖父と祖母が愛してやまなかつた空き家化していた旧邸をリノベーションし、蘇らせることにしたのです。昨今、淡路島の盛況に伴い、さまざまな施設が建設される最中、この事業が流行に乗った一時的なものにならないよう、何度も自問自答した上で決断でした。近年の淡路島ブームで竣工した数多くの施設の中には、今後も淡路島にとって必要なものなのか懸念される案件も無きにしもあらずです。なにより「そこに淡路島愛はあるんか!」という観点が、少なくとも地元民には必要不可欠です。

そのような考えのもと、かねてより抱いていた想いを貸別荘事業に込めることにしました。日本最古の歴史書「古事記」の冒頭にある「国生み神話」。そこには日本で最初に生まれた島が淡道之穂之狭別（淡路島）と記されています。なにより日本は現存する国家として世界最古の国です。そのような誇るべき国のはじまりの地が淡路島なのですから、特にまちづくりにおいて、そこを磨き上げる必要があると考えていました。そんな想いを貸別荘のコンセプトに据え、2023年4月にオープンすることができました。新規事業ということもあり、なかなか思うようにいきませんし、近年、非常に難しい経営課題も山積しておりますが、弊社の「想いを築く。」という理念に忠実に、今後も精進して参る所存です。